

能登教区通信

このたび、標記通信2018年10月号を発行いたしましたので、ご一読のほどお願い申し上げます。

発行責任者 真宗大谷派 能登教務所長 篠原 亨栄

教区教化事業のご案内

◆教区報恩講◆ 総合教化本部

能登教区(済美精舎)報恩講を、11月12日(月)から13日(火)にかけて教務所(済美精舎)にて厳修いたします。本年も、ご出仕並びに有縁の方々へのご参拝をご奨励ください。

詳細は同封のチラシをご覧ください。また、同封のポスターを掲示板等に掲示いただき、ご門徒や有縁の皆様へ周知ください。

① 教区(済美精舎)の報恩講の出仕について

出仕を希望される方は、11月2日(金)必着で同封のハガキ(出仕願)にてお申込みください。期限後の申込及び集會に遅れた場合は後座出仕となりますのでご注意ください。なお、組代表として出仕される場合は、組長を通じてお申し込みください。

② 教区(済美精舎)報恩講に伴う大掃除について

報恩講に向けて、11月8日(木)午前9時から済美精舎大掃除を行いますので、できるだけ多くの組からの参加をいただきたく、ご門徒の方々もお誘いいただきご参加ください。

つきましては、教務所で昼食をご用意いたしますので、11月5日(月)までに参加いただける人数を寺院ごとにとりまとめ教務所までお知らせください。

③ 教区(済美精舎)報恩講お斎用食材の寄付勧募について

報恩講でのお斎用食材(お米及び野菜)の寄付をお願いしています。たくさんの方に“安全”に“おいしく”食べていただくために、食材はできるだけ新しいものをお願いします。

なお、鮮度の関係上、お持込は11月に入ってからお願いします。何とぞご理解とご協力をお願いいたします。

④ 本山世話方への報恩講案内について

このたび、本山世話方への教区報恩講のご案内をお送りします。案内が不要の場合は10月19日(金)までに教務所へご連絡ください。

◆こころの広場◆ 同朋会推進部門

- ・ 日 時 2018年10月20日(土) 午後2時～4時
- ・ 講 師 寺本菜都奈 氏(金沢教区 光明寺)
- ・ 講 題 「南無阿弥陀仏のいわれ」
- ・ 参加費 500円

教化事業・その他行事のご報告

◆夏の子どもつどい2018◆ 青少幼年部門

今年の夏の子どもつどいは、8月21日(火)～23日(木)に輪島市三井町の石川県健康の森キャンプ場に於いて、「いきてるってなあに？」というテーマのもと、「ほとけの子クエスト」と題して、森の中を冒険しました。



「ほとけの子クエスト」では、森の中に待ち受ける山賊が出す、「森の中に暮らす動物たちの鳴き声を記録するクエスト」や「説明看板をみつけて森に生えている木の名前を記録するクエスト」を行いました。また、夜のきもだめしの前には、おばけの姿は、後ろ髪を引かれていて両手を前に突き出して欲にかられている、地につがっていない姿と表現される。それは私たちもおんなじ姿なんじゃないかな？というお話を聞きました。そして、キャンプファイヤーで

は、班のメンバー全員で、「いきてるってなあに？」ということを手を使った1枚の静止画にして表現しました。そのほかにも、キャンドル作り、水風船を使った水遊び、夕食の牛丼作りなどをしました。また初日の夜には、時代社会部門が毎月1回実施している「てらカレ部-あみだ食堂-」が出張して活動を紹介し、てらカレ部特製カレーをみんなで食べました。

日程の中では、楽しかったことや失敗したことなど、たくさんがありました。しかし、「そのままのあなたでいいですよ」と仰って下さっている阿弥陀さまの前で2泊3日を過ごす中で、「そのままの私」を振り返ってみることが大切なのだと、感じました。



「いきてるってなあに？」というテーマは、難しいテーマだと思います。しかし、阿弥陀さまの前で大人も子どもも一緒になって「いきてるってなあに？」ということを考えられたことは本当に良かったです。大人も子どももみんなほとけの子。大事にしたいと思います。

最後に、ご協力いただいた皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。〈第13組 改観寺 山本 良平 記〉

◆教区青年研修会『お寺であそぼう!2018』◆ 青少幼年部門・第3山方組共催

去る8月26日(日)に第3山方組照明寺にて、教区青年研修会『お寺であそぼう!2018』が開催された。子ども72人、大人44人、合計116人と、当初の予定をはるかに超える参加人数となった。

開会では、元藤了賢第3山方組組長(極心寺住職)挨拶のあと、参加者全員で勤行(正信偈)、日程説明、東玲氏(同組実行委員会部長/誓伝寺住職)による法話があった。若い保護者も、正信偈を一緒にお勤めする姿が見られた。



続いての「楽しいことがいっぱい!!」では、まず「親子で工作(念珠作り)」が行われた。次に、子どもたちはビンゴ大会、同時進行で保護者を対象にしたコーヒータムを行った。コーヒータムでは、仏事に関するクイズや、少人数グループでお寺のことを話題にしながらの話し合いが進められた。



お昼には、流しそうめんと縁日(スーパーボールすくい、かき氷、駄菓子釣り、射的、缶バッジ作製)があり、楽しそうにいろいろなコーナーをまわる子どもたちの姿がたくさん見られた。その後、七尾マジック研究会によるマジックショーが行われ、木越順也氏(同組実行委員会副部長/長龍寺住職)の挨拶で閉会した。

夏休みの終わりに、親子でお寺に集うことを通して、良い思い出を作ってもらえたのではないかと考えている。今回が初めての取り組みであり、各寺院に集う新しい場として今後も継続して行えるようにしたい。
〈第3山方組 願行寺 芳野 了俊 記〉

◆教区声明講習会◆ 研修部門

去る9月5日(水)～6日(木)の2日間にかけて『教区声明講習会』が行われ、御本山より本廟部堂衆の泉康夫先生にお越しいただき、「年忌法要のお勤めと執行について」ご講義いただきました。



各寺院やご門徒のお内仏でお勤めする年忌法要についてお話しいただき、1日目は法要をお勤めするにあたり、各法要の趣旨にそった荘厳、法要次第の書き方、そして法要の執行の流れをお話しくださいました。荘厳と法要次第は概ね決まりはあるが、地域、各寺院において様々で一概に正しいとか間違っているとは言い難く、御本山で2017年に厳修された闍如上人25回忌法要次第を例にして、昔と現在のお勤めの違いや、いかに丁寧に勤めるか、また簡略に勤めるかをご講義いただきました。

2日目は年忌法要を執行するにあたり、荘厳や装束と法要中の作法、お経の間違われやすい部分や癖になりやすい部分と大勢でお勤めする時に合わせづらい個所を具体的に確認しました。

今回は「年忌法要」という大切な御仏事を勤めるにあたり女性の参加もあり多くの質問がありました。改めて今回の講義を通し儀式執行のための研鑽が大切かを考えさせてもらった2日間でした。

〈第14組 信行寺 伊賀 頼成 記〉

本山・教区事務についてのご連絡

◇職員退職について◇

9月30日付で、室木つる子(能登教務所嘱託)が定年退職となりました。なお、10月1日からは教区役員(非常勤)として勤めていただきます。

退職挨拶 能登教務所嘱託 室木つる子

このたび、9月30日をもって定年退職となりました。2002年7月から3カ月のパート期間を経て、10月1日から嘱託として16年、教区の皆様の温かいご支援とご厚情に支えられ勤めさせていただき、心より感謝申し上げます。

16年の間、様々な出来事がありました。能登半島地震の時は輪島が大きな被害を受け、方々から応援があり御苦労いただきました。宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌にもお参りさせていただきました。両堂が参詣者でいっぱいだったことが印象に残っています。

10月1日からは教区役員として引き続き勤めさせていただきます。これからも変わらぬご指導をお願い申し上げます。



◇本山経常費完納寺院◇(2018.8.1～8.31迄)

2018年度本山経常費をご完納いただき、有難うございました。ここにご披露申し上げ、御礼に代えさせていただきます。

第1組	浄善寺	善西寺	慈雲寺	穴水組	慶法寺	誓運寺	隨照寺
	明専寺	恩通寺	照覺寺	第10組	覺性寺	往還寺	専行寺
第3 浜方組	明蓮寺				出田西光寺	正福寺	了覺寺
第4組	柳泉寺	遍行寺	廣覺寺		高福寺	長覺寺	道忍寺
第5組	真覺寺	智雲寺	福善寺		福正寺	光樂寺	教忍寺
	名願寺	永法寺			本龍寺	嚴徳寺	専念寺
第6組	廣照寺	願入寺		第12組	西永寺	長賢寺	榮林寺
第8組	本覺寺	聞信寺	善唱寺	第13組	浄泉寺	常福寺	西勝寺
	因念寺				頓聽寺	正福寺	大泉寺
鵜川組	浄誓寺			第14組	稱蓮寺		

◇代務者就任◇(教区通信9月号 掲載以降)

鵜川組	専順寺	鵜川組	正覺寺住職	禾几 文栄	2018年7月27日
第12組	明傳寺	第11組	聖徳寺候補衆徒	隆 彰見	2018年8月29日

◇敬弔◇(教区通信9月号 掲載以降)

御生前の御苦勞を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

第11組	聖徳寺	住職	隆 彰淳	2018年8月28日
------	-----	----	------	------------

◇おすすめ出版物の紹介◇

◇阿弥陀經に学ぶ◇

『阿弥陀經』を浄土三部經のひとつとして尊ばれた親鸞聖人の受け止めを手がかりに、經題、經典翻譯者、そして經典の内容へと分け入り、人生に苦惱する私たちに届けられた釈尊(お釈迦さま)の大悲のメッセージを丁寧に読み解きます。

本願念仏の道は、1人の力だけではとても歩めません。称名念仏と、そしてまた念仏に生きられた方々がおられることによって、はじめて歩いていくことのできる道があります。『阿弥陀經』は、日々の読誦を通してそのような感覚を、私たちにおのずから開いてくださる經典なのであります。〈おわりにより抜粋〉

お經の領解をたすける『阿弥陀經』の構成・全文の書き下し文も収載しています。

《 廣瀬 惺著／東本願寺出版 刊／四六版／208ページ／1,382円 》



※この教区通信は能登教区ホームページよりPDFファイルでダウンロードすることができます。

適宜ご利用ください。

能登教区教化テーマ
能登教区教化スローガン
能登教区ホームページアドレス URL

ほとけさまに会いにきたいのち、今ともに生きよう
一人一人が親鸞聖人に向き合う生活を
<http://ohigashi-noto.jp/>